

殺ダニ剤  
**エコマイルト顆粒水和剤**  
スピロジクロフェン水和剤

令和8年1月21日付けで以下の通り適用拡大されました。

＜変更内容＞

- 作物名に「花き類・観葉植物」を追加する。
- 作物名「なし」に、適用病害虫名「ニセナシサビダニ」を追加する。

**太字**が追加部分です。（追加する作物のみ抜粋）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピロジクロフェンを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物	ハダニ類	2000倍	150～300ℓ/10a	発生初期	1回	散布	1回
なし	ハダニ類		200～700ℓ/10a	収穫14日前まで			
	ニセナシサビダニ						

＜使用上の注意事項の追加・変更＞

【追加・変更】

- (2) ハダニ類は繁殖が速く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布すること。
- (6) カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用後14日間は入水しないこと。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【変更後】

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) ハダニ類は繁殖が速く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布すること。
- (3) おうとうの新梢伸長期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- (4) ぶどうに使用する場合、果実に汚れが生じるおそれがあるので注意すること。
- (5) はくさいには薬害を起こすおそれがあるので、かからないように注意すること。
- (6) カラー、花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないこと。また、使用後14日間は入水しないこと。
- (7) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

